

I 平成31年度当初予算の主な施策

1 子ども・子育て世代への支援の充実

- 千葉の未来を担う子どもが心身ともに健やかに育つよう、子育て・教育環境のさらなる充実を図ります。

まず、近年の猛暑への対策として、県立高校の普通教室に空調を整備するとともに、保護者負担で設置された普通教室の空調のリース料を県負担に切り替えます。また、私立幼稚園が行う空調整備について、補助率の引き上げと補助対象経費の拡充を行います。
- 児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに向け、スクールソーシャルワーカーを増員するほか、高校生に身近なSNSを利用した新たな相談窓口を開設します。
- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、私立学校経常費補助について、県単独の補助単価を高校、幼稚園とも前年度から2,000円ずつ引き上げ、専修学校も1,000円引き上げます。
- 県内の保育基盤の一層の充実を図るため、保育士の給与改善のための県単独の補助や、処遇改善につながるキャリアアップ研修の実施、利便性の高い場所での賃貸物件を活用した保育所の整備費や賃借料への補助について、予算を増額します。

また、子育て世代の経済的負担を軽減するため、国の「幼児教育の無償化」に対応し、認定こども園・保育所・私立幼稚園の無償化に要する経費の一部を負担します。
- 児童虐待防止や被虐待児のケアのため、新たに乳児院等における相談体制の充実、拠点病院における被虐待児への心理的ケア体制の構築に取り組みます。

<主な事業>

・ 県立学校空調設備整備事業	917,000千円 (別冊 6頁)
・ 私立幼稚園空調設備整備事業補助【新規】	70,000千円 (別冊 7頁)
・ 学校におけるいじめ・不登校等対策の推進【一部新規】	906,803千円 (別冊 8頁)
・ 私立学校経常費補助 (一般補助)	34,462,896千円 (別冊 9頁)
・ 千葉県保育士処遇改善事業	1,575,000千円 (別冊 10頁)
・ 保育士等キャリアアップ研修事業	126,050千円 (別冊 11頁)
・ 賃貸による保育所・小規模保育事業所緊急整備事業	550,000千円 (別冊 12頁)
・ 都市部における保育所等への賃借料支援事業	593,000千円 (別冊 13頁)
・ 幼児教育・保育無償化の実施【新規】	5,950,000千円 (別冊 14頁)
・ 児童虐待防止対策事業【一部新規】	330,589千円 (別冊 15頁)

2 医療・福祉の充実

- 喫緊の課題である介護人材の確保対策について、新規就業やキャリア形成への支援に取り組みます。平成31年度は、前年のベトナム訪問の成果を踏まえ、外国人介護職員の就業促進に向け、新たに留学生の日本語学習費用や留学後の居住費に対する支援、メンタルサポート、受入施設に対する労務管理研修等を実施します。
- 大規模災害の被災地で、高齢者や障害者などの要配慮者へ福祉支援を行う「災害派遣福祉チーム」の派遣体制を整備するとともに、その拠点ともなる千葉県社会福祉センターの再整備に向けた実施設計を行います。
- 子どもの貧困対策を総合的に推進するため、子供の貧困に係る実態や課題の把握等を行うための調査を行います。また、発達障害者への支援を強化するため、発達障害者支援センターに新たに地域支援マネージャーを配置します。
- 地域医療を支える医師・看護師を確保するため、若手医師のキャリア形成プログラムの策定と専門研修指導医の派遣を一体的に行うほか、医療機関から訪問看護ステーションへの看護師派遣への支援を新たに実施します。
- 病院事業会計においては、がんセンター新棟の建設工事や、(仮称)千葉県総合救急災害医療センターの整備に向けた実施設計を行います。

<主な事業>

・介護人材確保対策事業【一部新規】	309,317千円 (別冊 16頁)
・千葉県災害派遣福祉チーム(DCAT)体制整備事業【新規】	3,900千円 (別冊 17頁)
・千葉県社会福祉センター整備事業	181,420千円 (別冊 18頁)
・子どもの生活実態調査【新規】	20,000千円 (別冊 19頁)
・発達障害者支援センター運営事業【一部新規】	60,436千円 (別冊 20頁)
・ちば若手医師キャリア形成支援事業【新規】	39,000千円 (別冊 21頁)
・訪問看護ステーション等出向支援事業【新規】	11,600千円 (別冊 22頁)
・がんセンター施設整備事業	24,450,727千円 (別冊 23頁)
・(仮称)千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業	49,534千円 (別冊 24頁)

3 くらしの安全・安心の確立

- 地震発生時に迅速な避難や救助・支援を行うため、「地震被害予測システム」について液状化被害や避難者数等の推計ができるよう、また「千葉県津波浸水予測システム」について予測対象地域を拡大するよう、それぞれシステムの整備を行います。

また、平成31年度は、九都県市合同防災訓練の中央会場訓練、関東10都県で行う緊急消防援助隊訓練、テロ災害などの緊急事態に対処するための国民保護実動訓練を千葉県で実施します。

- 災害の恐ろしさや災害に対する備え・対処方法などをわかりやすく理解できるよう、津波やゲリラ豪雨を疑似体験できる映像機器を西部防災センターに整備するとともに、啓発動画を新たに作成します。

- 地震等の自然災害により住宅に被害が生じた世帯に支援金を支給するため、全都道府県で連携して基金への拠出を行います。

- 近年、多発する集中豪雨や大型台風などから県民の生命・財産を守るため、道路の排水設備や、河川・海岸の堤防・護岸などの整備費を大幅に増額します。

また、大阪府北部地震におけるブロック塀倒壊事故を踏まえ、県立学校をはじめとする県有施設において安全対策が必要なブロック塀等の撤去・改修を行います。

- 地域防犯力の向上を図るため、防犯ボックスの設置をさらに進めるほか、警察署の庁舎や交番・駐在所の建替え・改修に係る予算を大幅に増額し、県民生活の安全を支える警察体制の強化を図ります。

<主な事業>

・地震被害予測システム高度化事業【新規】	14,000千円（別冊 25頁）
・千葉県津波浸水予測システム整備事業	32,635千円（別冊 26頁）
・防災訓練事業・国民保護訓練事業	195,000千円（別冊 27頁）
・映像による防災意識の向上促進事業【新規】	18,000千円（別冊 28頁）
・被災者生活再建支援基金拠出金	1,732,400千円（別冊 29頁）
・台風・豪雨対策事業	6,576,924千円（別冊 30頁）
・県立学校及び県有施設におけるブロック塀等安全対策事業	200,000千円（別冊 31頁）
・防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	108,900千円（別冊 32頁）
・警察署庁舎整備事業	238,735千円（別冊 33頁）
・交番・駐在所整備事業	559,687千円（別冊 34頁）

4 商工業の振興・雇用

- 中小企業の積極的な設備投資等を支援するため、中小企業振興資金について、過去最大の融資枠5,700億円を継続するほか、創業へのチャレンジを促進するため、新たに創業資金に係る信用保証料の一部を補助します。
- 本県への企業立地を促進し、経済の活性化と雇用の確保を図るため、立地企業補助金について、新たに産業用地の確保に取り組む市町村への助成メニューを創設します。
また、空き公共施設を活用した企業進出を促進するため、従来からのマッチング支援に加え、新たに企業誘致コンソーシアムの創設、立地企業補助金への助成メニューの追加を行います。
- 中小企業におけるI・O・T等の活用による技術の高度化や生産性の向上を図るため、ワンストップ相談窓口やI・O・T体験ラボの設置、講習や専門家派遣等の支援を行います。
- ジョブカフェちば、千葉県ジョブサポートセンターにおいて、若者や中高年齢者、子育て中の女性などの就職支援、中小企業の人材確保支援を行います。
また、働き方改革関連法の成立を受け、中小企業等における長時間労働の是正や働きやすい職場環境づくりに向けた、働き方改革アドバイザーの派遣やテレワークの導入支援を行います。

<主な事業>

・中小企業振興資金	190,000,000千円（別冊 35頁）
・創業資金信用保証料補助金【新規】	20,000千円（別冊 36頁）
・立地企業補助金【一部新規】	865,000千円（別冊 37頁）
・空き公共施設等を活用した企業進出支援事業【一部新規】	16,000千円（別冊 38頁）
・中小製造業向けスマート化推進事業【一部新規】	15,300千円（別冊 39頁）
・ジョブカフェちば事業	140,415千円（別冊 40頁）
・千葉県ジョブサポートセンター事業	59,232千円（別冊 41頁）
・「働き方改革」推進事業【一部新規】	17,000千円（別冊 42頁）

5 農林水産業の振興と社会基盤づくり

(1) 農林水産業の振興

- 県産農林水産物の輸出拡大に向け、アジア地域における県のプロモーション活動を強化するとともに、海外販路の拡大に取り組む生産者団体等への支援について、予算を増額します。
- 経営の大規模化による生産性の向上を図るため、農地中間管理機構等を活用した担い手への農地集積を支援します。また、園芸産地の生産性向上のため、施設化や省力化機械の導入等に対して引き続き助成します。
- 近年の猛暑に対し、酪農の生産性を維持・向上させるため、牛舎等に暑熱対策を行う取組へ、新たに助成を行います。
- 有害鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、特に被害の大きいイノシシ（成獣）の補助単価を大幅に引き上げるほか、イノシシの棲み家となる耕作放棄地等の刈払いに対する助成枠を拡大します。
- 新品種の開発や新たな栽培技術の確立に向けた効率的な研究体制を構築するため、農林総合研究センターの再編整備について、年度内の竣工を目指し工事を進めます。
- 県内の森林整備と林業振興を図るため、新たに設けられる「森林環境譲与税」を活用し、市町村が行う森林整備や、県産木材の利用促進のための取組を拡充します。
- 水産業の振興を図るため、銚子漁港をはじめとする漁港施設の老朽化対策や機能強化、耐津波対策を進めます。

<主な事業>

・「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業	59,350千円（別冊 43頁）
・農地集積加速化促進事業	461,000千円（別冊 44頁）
・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業	350,000千円（別冊 45頁）
・ちばの酪農夏季生産性向上対策事業【新規】	10,000千円（別冊 46頁）
・野生鳥獣総合対策事業	494,781千円（別冊 47頁）
・イノシシ等有害獣被害防止対策事業	318,900千円（別冊 48頁）
・農林総合研究センター再編整備事業	2,316,094千円（別冊 49頁）
・森林整備事業【一部新規】	264,875千円（別冊 50頁）
・ちばの木活用促進事業【一部新規】	35,547千円（別冊 51頁）
・漁港建設事業【一部新規】	5,162,933千円（別冊 52頁）

(2) 社会基盤づくり

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備について、予算を大幅に増額します。
平成31年度は、北千葉道路について、印西市～成田市間の事業中区間の整備、市川市～船橋市間の環境アセスメント・都市計画変更の手続きを進めます。
また、圏央道などの広域的な幹線道路ネットワークが整備される中、その効果を県内各地に波及させるため、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどのアクセス道路や、地域に密着した道路の整備を進め、開通目標の達成に向けて整備を推進します。
- 道路交通の安全・安心を確保するための歩道や信号機、横断歩道の補修、道路環境の維持・向上のための舗装道路修繕等について、予算を増額し、整備を推進します。
- いすみ鉄道は沿線住民の日常の交通手段であるほか、観光面での効果も非常に大きいことから、関係市町とともに、線路等のインフラ部分の維持修繕費に加え、安全輸送やサービスの更なる向上を図るため、運行経費の一部を助成します。
- 鉄道やバスを、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全で快適に利用できるよう、駅のエレベーターやホームドアの設置、ノンステップバス等の導入に対し助成を行い、整備を促進します。
- 「県有建物長寿命化計画」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の県有建物について、建替えや大規模改修、計画保全等に取り組みます。平成31年度は、新たに山武合同庁舎の建替え、千葉県文化会館や農業大学校等の大規模改修に着手します。

<主な事業>

・道路ネットワーク事業	61,882,398千円 (別冊 53頁)
・道路維持管理事業	9,557,000千円 (別冊 54頁)
・交通安全施設整備事業	9,026,330千円 (別冊 55頁)
・いすみ鉄道に対する支援【一部新規】	88,210千円 (別冊 56頁)
・交通バリアフリー対策事業	166,365千円 (別冊 57頁)
・県有建物長寿命化対策事業	21,806,658千円 (別冊 58頁)

6 千葉の魅力発信

- 翌年に迫った東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、大会の機運醸成や情報発信などをオール千葉体制で推進します。

平成31年度は、大会公式マスコットのモニュメントや大会に向けたプロモーション動画の制作、プレイベント等での千葉の魅力発信、大会と併せて実施するイベントの準備等に取り組みます。

- 千葉県を訪れる方々が「また千葉に行きたい」と心から思えるよう、オール千葉で「おもてなし」の機運を醸成するための取組みを進めます。
- 魅力ある観光地域づくりに向け、市町村等が行う観光コンテンツの開発や観光公衆トイレ・案内所等の整備に対し助成します。
また、国内外から誰もが本県での観光を楽しめるよう、県内観光施設等のバリアフリー情報の提供、外国語SNSを活用した観光情報の発信を行います。
- 地方における人材の確保や地方への人の流れの創出、まちの活性化などに資するため、県内の条件不利地域への移住や、地域の課題解決に資する分野での起業について、その費用の一部を助成します。

<主な事業>

・東京2020大会開催に向けた情報発信の強化事業【新規】	25,000千円（別冊 59頁）
・東京2020大会開催に併せたイベント実施事業【新規】	5,000千円（別冊 60頁）
・東京2020大会に向けたボランティアの確保・育成	86,526千円（別冊 61頁）
・オール千葉おもてなし推進事業	57,002千円（別冊 62頁）
・観光地域づくり育成支援事業【新規】	40,000千円（別冊 63頁）
・観光地魅力アップ整備事業	280,000千円（別冊 64頁）
・バリアフリーツアー情報発信事業【新規】	23,000千円（別冊 65頁）
・外国語SNSを活用した観光情報発信強化事業【新規】	12,900千円（別冊 66頁）
・UIJターンによる起業・就業者創出事業【新規】	81,500千円（別冊 67頁）

7 文化・スポーツ・環境施策の推進

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成と、本県の文化振興、地域活性化を図るため、東京2020文化オリンピックアードの一環として、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。
- 障害のある人の自立と社会参加を促進するため、障害のある人や障害福祉サービス事業所の芸術文化活動を支援する「障害者芸術文化活動支援センター」を設置します。
- 本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、競技観戦や体験イベント等を通じて競技への理解を深めるとともに、障害者スポーツを広く県民に周知するための取組みを実施します。
- 生態系への影響や農林水産業への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施するほか、新たに、印旛沼及び手賀沼で繁殖が進んでいる外来水生植物の駆除に向けた調査を実施します。

また、本年4月からの「千葉県再生土の埋立て等の適正化に関する条例」の施行に向け、土壌の分析等に係る予算を増額し、検査・監視体制を強化します。

〈主な事業〉

- ・東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業【一部新規】
48,000千円（別冊 68頁）
- ・障害者芸術文化活動支援事業【新規】
7,028千円（別冊 69頁）
- ・東京2020大会に向けた機運醸成・県内開催競技支援事業【一部新規】
62,000千円（別冊 70頁）
- ・障害者スポーツ振興事業【一部新規】
40,055千円（別冊 71頁）
- ・外来種特別対策事業
112,824千円（別冊 72頁）
- ・湖沼における外来水生植物対策事業【新規】
10,000千円（別冊 73頁）
- ・再生土埋立等適正化事業【一部新規】
17,886千円（別冊 74頁）